

令和５年度 学校教育目標・指導の重点

Ⅰ 学 校 教 育 目 標

- ・知性に富み、自ら問い・考え・行動する力を養う
- ・情操豊かな人格を養う
- ・たくましい心身を養う
- ・地域及び多様な人間と協働する力を養う

Ⅱ スクール・ミッション

- Ⅰ 社会人としての基本的な資質を身に付け、地域の課題に対して主体的に考え取り組むなど、自ら課題解決していく生徒の育成
- Ⅱ 変化する社会に対応するため、幅広い知識と教養を身に付け、他者と協働して課題解決を図ろうとする生徒の育成
- Ⅲ 将来へ明確な目標を立て、達成のため問い・考え・行動し人格を磨き続ける生徒の育成

Ⅲ ３つの方針（スクール・ポリシー）

○育成を目指す資質・能力に関する方針
Ⅰ 教養ある市民としての基礎的・基本的な知識と規範を身につける Ⅱ 自ら課題と向き合い思考力・判断力・表現力を活かし解決方法を探究する Ⅲ 様々な関わりや働きかけの中で人間性を磨き学び続ける
○教育課程の編成及び実施に関する方針
Ⅰ 生徒の自己実現・進路実現のため、時代の変化や生徒の多様な特性に配慮した教育課程 Ⅱ 学校及び地域の実態に即した教育課程 Ⅲ 授業の工夫・改善を図り、生徒や地域の特性を活かした特別活動等と共に効果的に展開する教育課程
○入学者の受入れに関する方針
Ⅰ 自分を取り巻く社会を探究しようとする人 Ⅱ 今の自分を少しでも超えようと努力する人 Ⅲ 多様な人と協働しようとする人

4 指導上の重点事項

重点目標	自立と共生の精神を培い、社会で「生き抜く力」を涵養することを目指す
学習指導	(1) 生徒の学習実態を的確に把握し、学力伸長の取組を進める。 【確かな学力】 (2) 規律ある学習態度を育成し、学習習慣を定着させる。 (3) 教育課程を充実させるとともに、公開授業や校内研修会を通じて指導法や授業形態・評価等の工夫を図りながら、すべての教科において授業改善に取り組む。
生徒指導	(1) 基本的生活習慣を身につけ、思いやりがあり優しく礼儀正しい生徒を育てる。 (2) 学校と家庭・地域社会・関係機関との密な連携で生徒の事故を未然に防止する。 (3) 生徒理解に努め、教師と生徒、生徒相互の豊かな人間関係を育成する。 (4) 行事・部活動・ボランティア活動等生徒の自主的・協働的取組を充実する。 【挨拶と掃除】
進路指導	(1) 生徒が進路活動へ主体的・協働的に取組み社会人として自立できるよう指導する。 (2) 3年間を見通したキャリア教育を計画した進路シラバスを活用し、進路活動を実行する指導体制を確立する。 (3) 体験活動を重視し、インターンシップやボランティア活動を充実させる。
健康安全指導	(1) 自他の生命・人権を尊重し、いじめを予防する取組を進める。 (2) 特別支援教育・教育相談を充実させる。 【優しさと思いやり】 (3) 学習環境の整備・美化に努め、人や物を大切にする心を育てる。 (4) 感染症の予防等に対する正しい知識を持ち、自ら進んで行動させる。